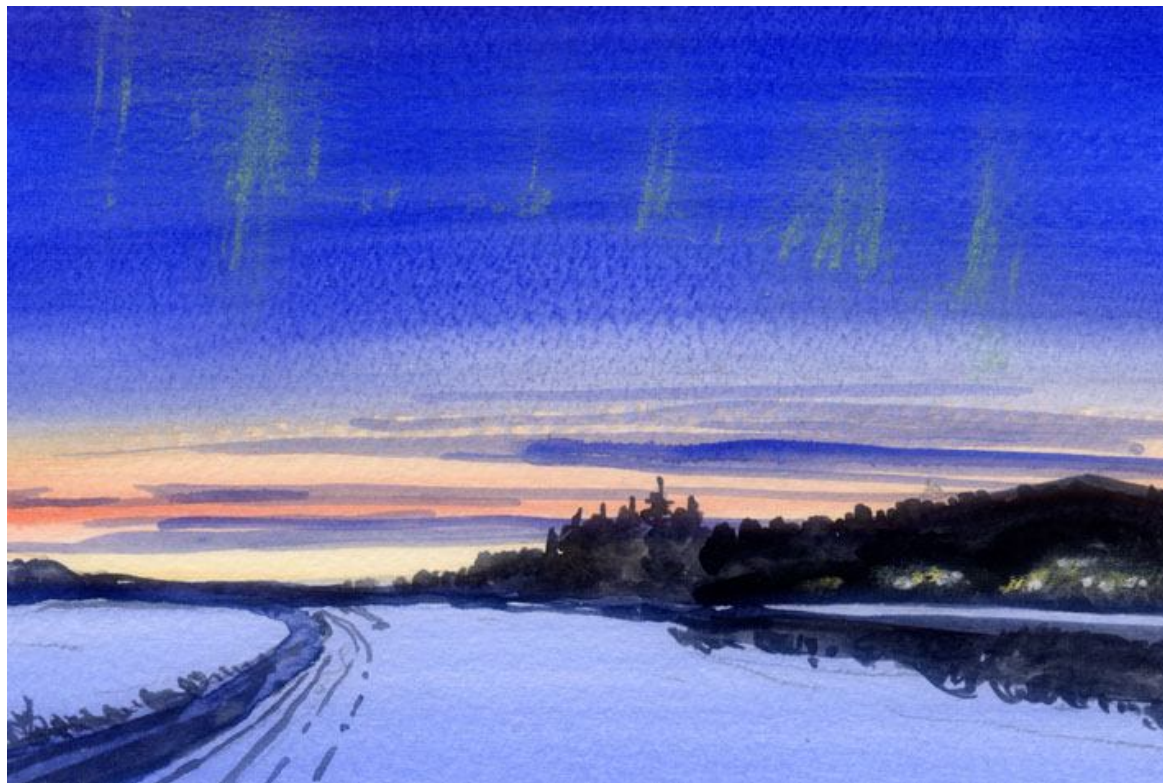
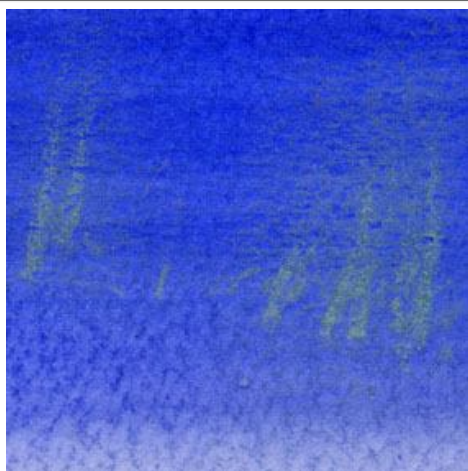


「日々の理科」(第1753号) 2019年(平成31年) 4月27日
水彩画教室「最後のオーロラ」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

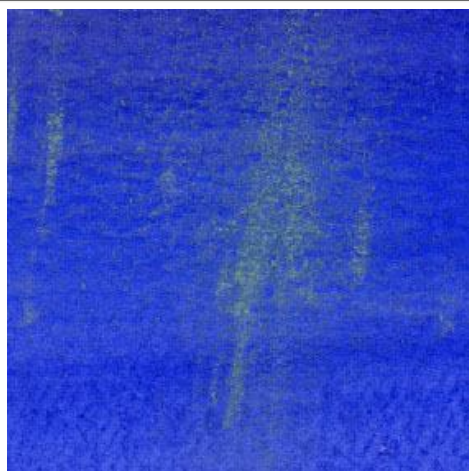
私と仲間が遠隔観測を続けている ヨックモック郡ポルユス村は スウェーデン北部の北極圏に位置しています 春分を過ぎると急激に夜が短くなり 白夜の季節が近づいてきます ここは世界屈指のオーロラ好観測地ですが 5月から8月中旬までは全く観測できなくなります 4月下旬には最後のオーロラが 暮れ切らぬ北の空に 幻想のように舞っていました



これが完成した絵です



1、淡いオーロラは 緑のパステルで描きましたが 今一つうまくいきませんでした



2、磁力線に沿って 斜めに細長い構造(レイ)が現れます それも描いておきます



3、北の地平線近くの空は 少し明るく残しておきます ジョン・ブリアン(肌色)を基本に横のタッチで描きます



4、中景の森 針葉樹の樹容をシルエットで描きます



5、右手の丘の麓に小さな村があります その灯火をぼやかして描きます



6、一番左手の雪原は まだ凍った湖です その右のカーブは鉄道の線路です